

農林水産物の生産等概況について

1 要旨・目的

県内産農林水産物の生産及び販売の概況を報告する。

2 現状・背景

—

3 概要

(1) 調査対象

卸売市場、出荷団体等

(2) 調査期間

令和6年6月～令和6年9月（※一部の品目については、5月から8月）

(3) 調査結果

ア 農産物

(ア) 普通作物の生産状況

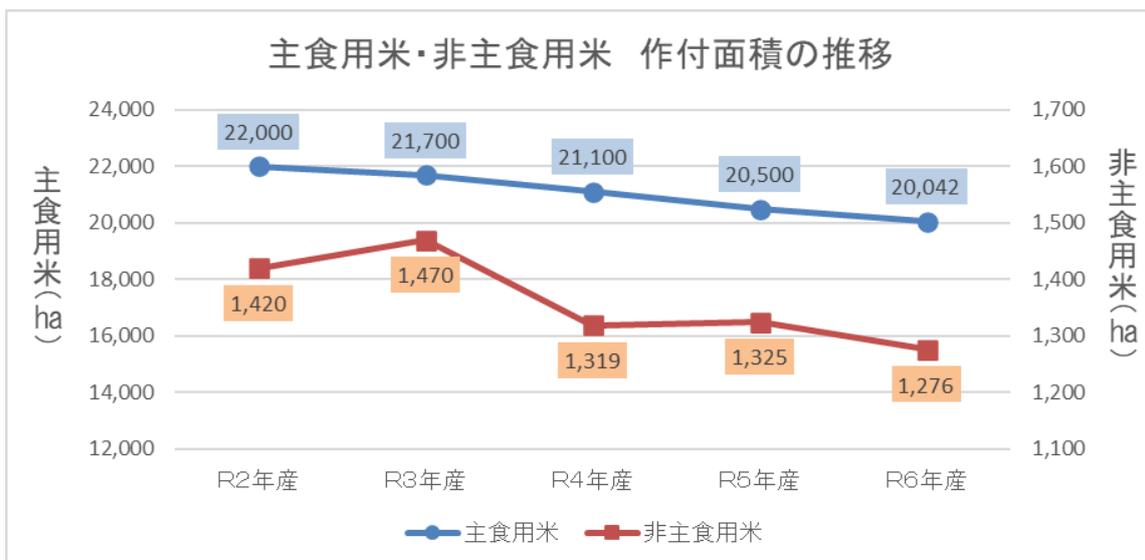
a 水稻

県内の主食用米の作付面積は、前年より458ha減少し、20,042haと見込んでいる。

9月末現在、生育はやや早く、早生品種を中心に主食用米の約7割の収穫が終了しており、一部では中生品種の収穫作業が行われている。

また、1等米比率については、高温の影響のため、平年よりやや低いものの、作柄については、平年並みとなっている。

非主食用米の作付面積については、前年より48ha減少し、1,276haと見込んでいる。



b 大豆

9月末現在、一部では病害等の発生が確認されるものの、概ね順調に生育している。

(イ) 野菜の生産状況

昨年に続き、全国的に多くの品目で猛暑の影響を受けたため、特に8月には生産量及び入荷量が減少して、昨年以上に単価が上がっている。

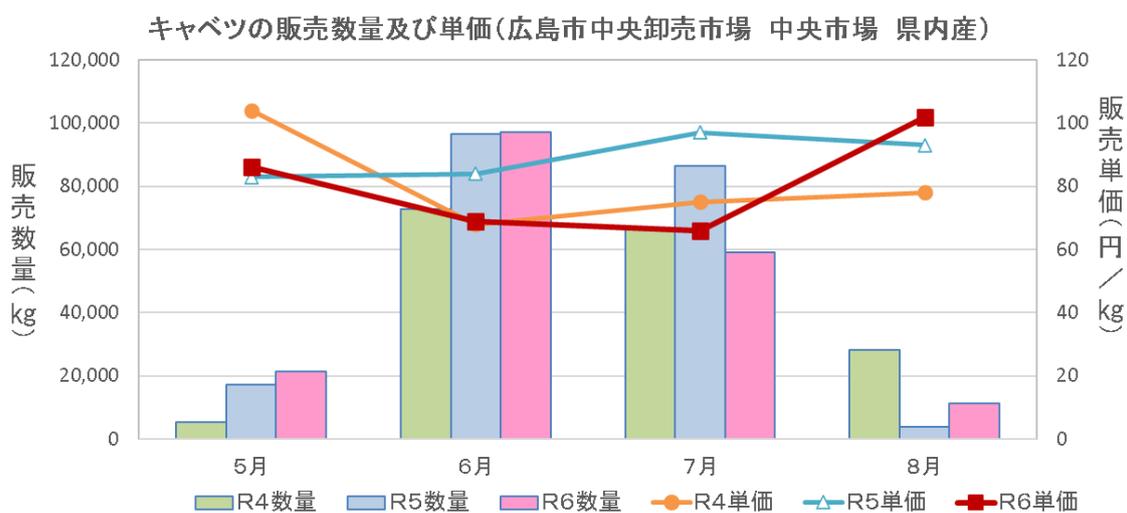
県内においてもキャベツ、なす、ピーマンなどの露地野菜やほうれんそうなどの葉物野菜では高温による生育不良が生じたため、平年より販売数量が伸び悩んでいる。

なお、トマトや青ねぎ、アスパラガスなどの施設野菜では、暑熱対策等により、安定した生産となった。

a キャベツ

庄原市や北広島町など、県北部で生産されたものが流通した。

露地品目のため猛暑の影響を大きく受けた。5月は過去6年で最も多い数量が販売されたが7～8月は平年を下回った。

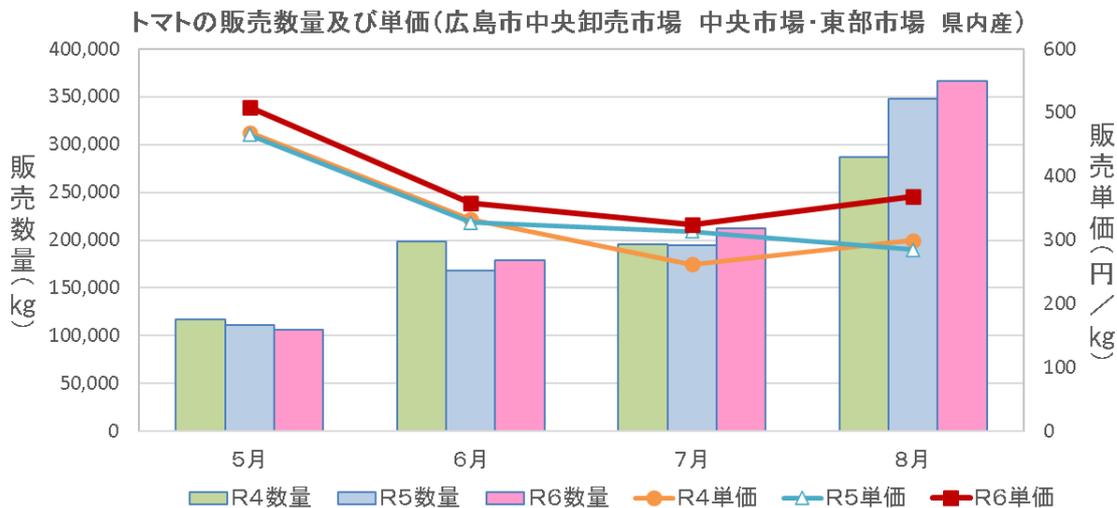


b トマト

6月までは呉市等の県南部、7月からは庄原市や北広島町、神石高原町など、県北部で生産されたものが流通した。

販売数量は平年よりやや増加し、販売単価も高値傾向で推移した。

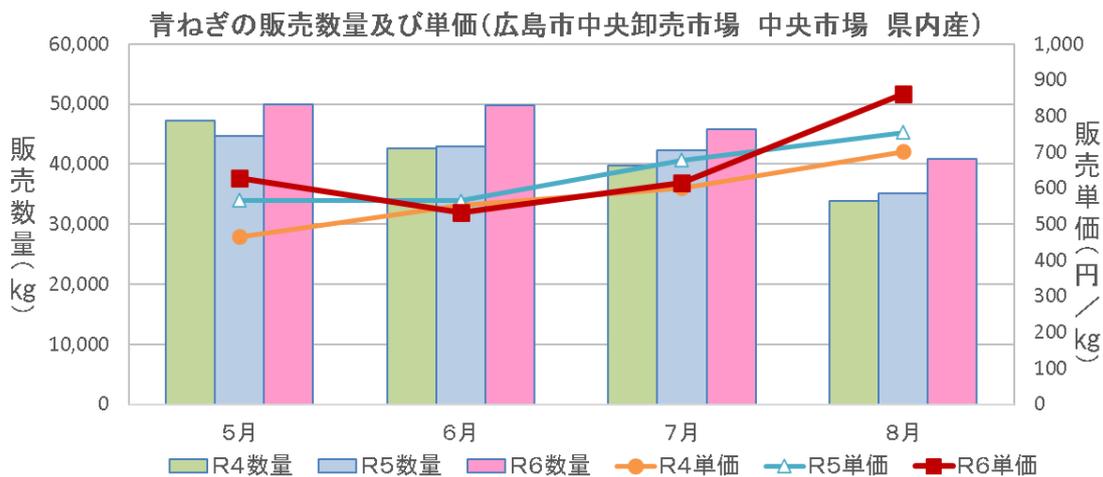
8月は盆まで大玉傾向での出荷量が多かった。



c 青ねぎ

安芸高田市の養液栽培や庄原市などの土耕栽培のものが流通した。

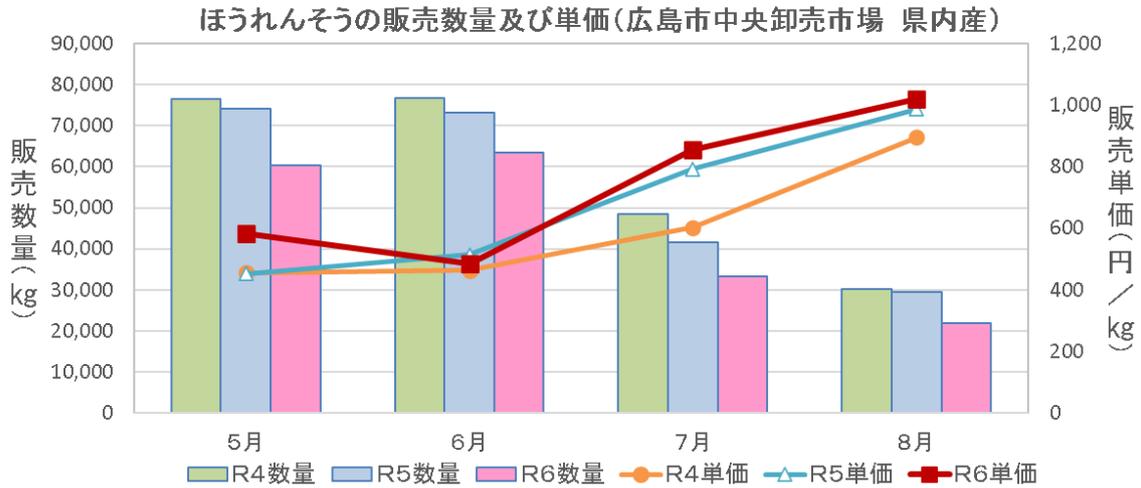
5月は販売単価が平年より高かったものの、6～7月は販売数量が平年より多くなり、単価は平年並みで推移した。8月は猛暑の影響はあったが販売数量、販売単価ともに平年を上回った。



d ほうれんそう

庄原市や北広島町などの県北部で生産されたものが流通した。

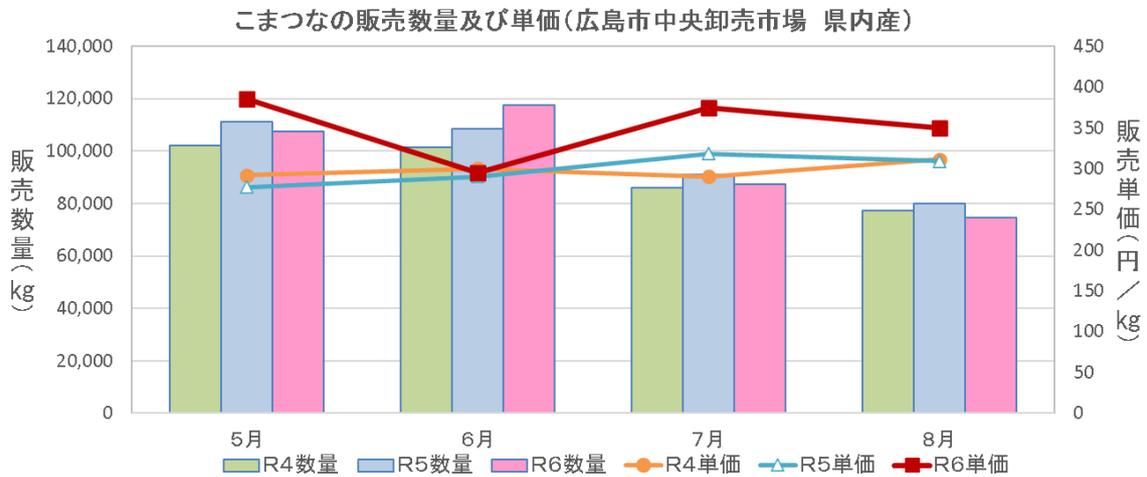
5月以降、高温の影響で生育不良となり、販売数量は平年より2～3割程度減少した。販売単価は平年よりやや高く推移した。



e こまつな

広島市、安芸太田町を中心に生産されたものが流通した。

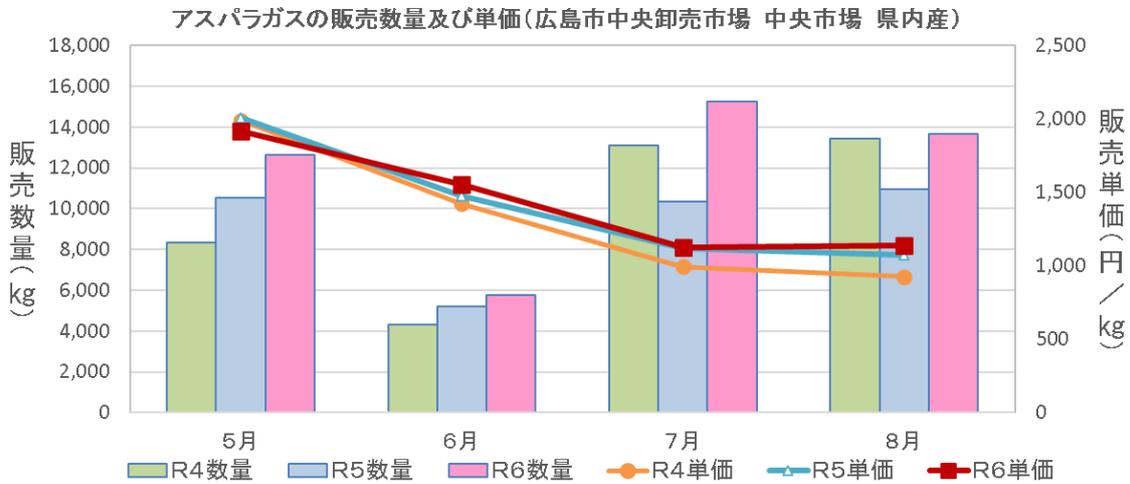
5～6月は販売数量が平年よりやや多く推移した。7月以降は猛暑の影響により販売数量は平年より減少したが、販売単価は平年よりやや高く推移した。



f アスパラガス

主に三次市や世羅町で生産されたものが流通した。

5～7月は販売数量が平年より2割程度増加傾向で推移し、販売単価は平年より1～2割程度高値で推移した。



(ウ) 果樹の生産状況

a うんしゅうみかん

極早生の出荷が10月4日から開始された。

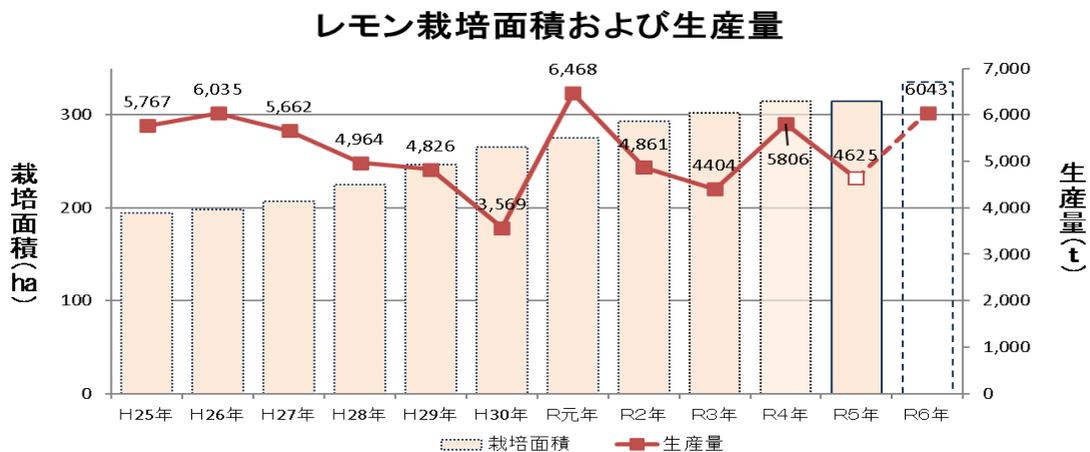
販売数量は、前年比104%の8,353 tと見込んでいる。昨年は干ばつの影響から収穫量が減った一方で、今年は裏年であるものの昨年より適度に雨が降っていることから順調に肥大しており、糖度も高い状況である。

b レモン

ハウスレモンは、6月下旬から出荷が開始された。

環境制御技術が活用され、9月末までの販売数量は前年と同様の42 tとなった。

露地栽培のレモンは、10月5日から出荷が開始された。本年産の販売数量は、寒波による樹勢低下から回復し、前年を30%程度上回る見込み。



※「特産果樹生産動態等調査」(農林水産省)。
 令和5年の栽培面積及び生産量はJA広島果実連調べ(速報値)。
 令和6年の生産量はJA広島果実連調べ(開花・発芽状況調査結果から推計)。

c **ぶどう**

ぶどうの販売数量は猛暑のため着色が悪くやや減少している。

シャインマスカットの販売数量は前年より 17 t 増加し (+ 6 %)、単価は前年より 81 円/kg 向上した (+ 4 %)。

d **なし**

5月の着果量は平年並みだったものの、その後、カメムシによる被害の影響で、幸水・豊水ともに市場出荷に係る販売数量は前年より減少した。

なお、品質が劣るものも含めて直販へ回して対応するなど、販売額向上に努めているところである。

また、今年度は、注意報や警報を発令して防除対策等の呼びかけを行ったにも関わらず、経営体によりカメムシの被害発生程度に差があったことから、経営への影響も含め、農業技術指導所が中心となって要因分析等を行うこととしている。

e **いちじく**

猛暑による障害果の発生があり、販売数量は前年比 69%となった。

単価は、販売数量が少ないため、前年に比べて高単価となった。

広島県産落葉果樹の販売状況 (令和6年9月末までの累計 J A広島果実連扱い)

品目 (品種)	販売数量			販売単価		
	t	前年比 (%)	前々年比 (%)	円/kg	前年比 (%)	前々年比 (%)
ぶどう (ピオーネ)	564	96	95	1,650	104	107
ぶどう (シャインマスカット)	309	106	119	1,939	104	95
なし (幸水)	103	49	31	543	129	123
なし (豊水)	264	85	73	527	113	150
いちじく (蓬莱柿)	126	69	62	1,145	116	127

f **りんご**

晩生の品種の着果量にバラつきがあり、生産量はやや減少すると見込んでいる。

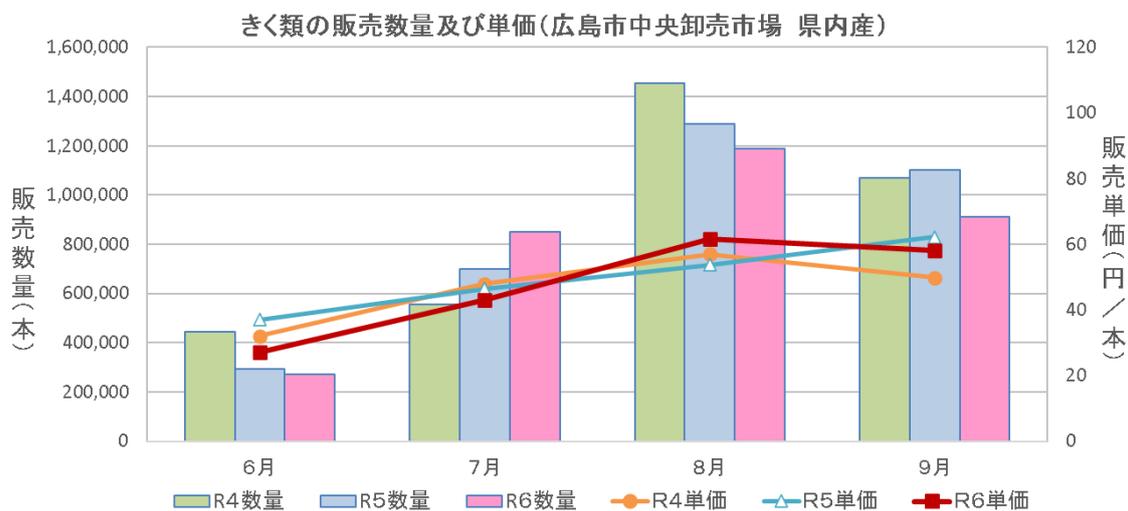
(I) 花きの生産状況

単価は平年より1～3割高で推移している。全国的な猛暑で盆時期の入荷量は減った。

a きく

庄原市、江田島市等から出荷されている。

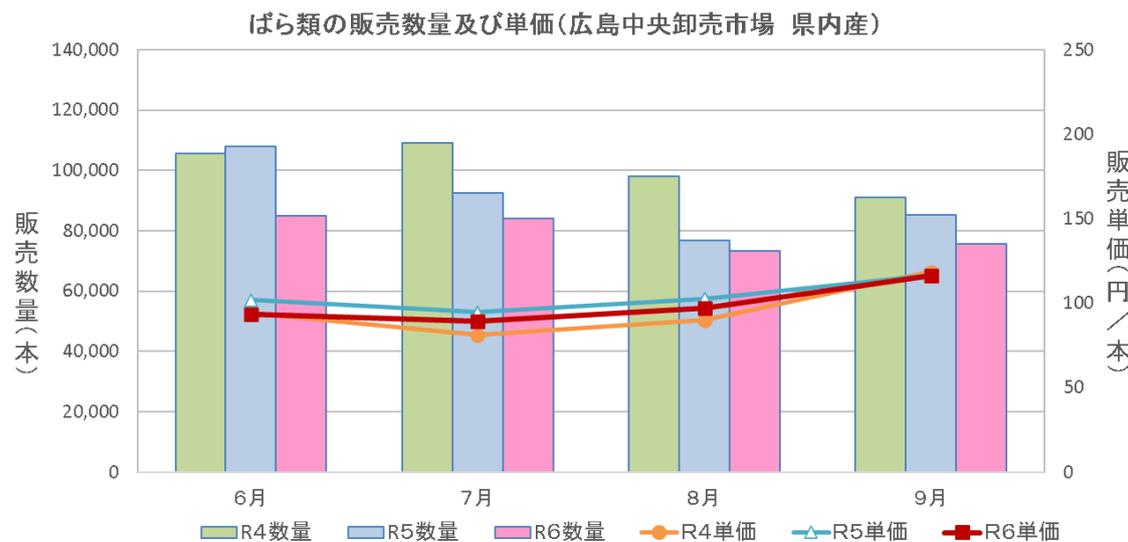
6月までは販売数量は減少傾向であったが、7月は平年より1割増で推移した。8月以降は、高温による開花不良や虫害の多発により販売数量は平年を下回った。



b ばら

主に廿日市市、江田島市、呉市から出荷されている。

販売数量は平年よりも1～2割程度減少傾向で推移し、販売単価は平年より1割程度高値傾向で推移した。

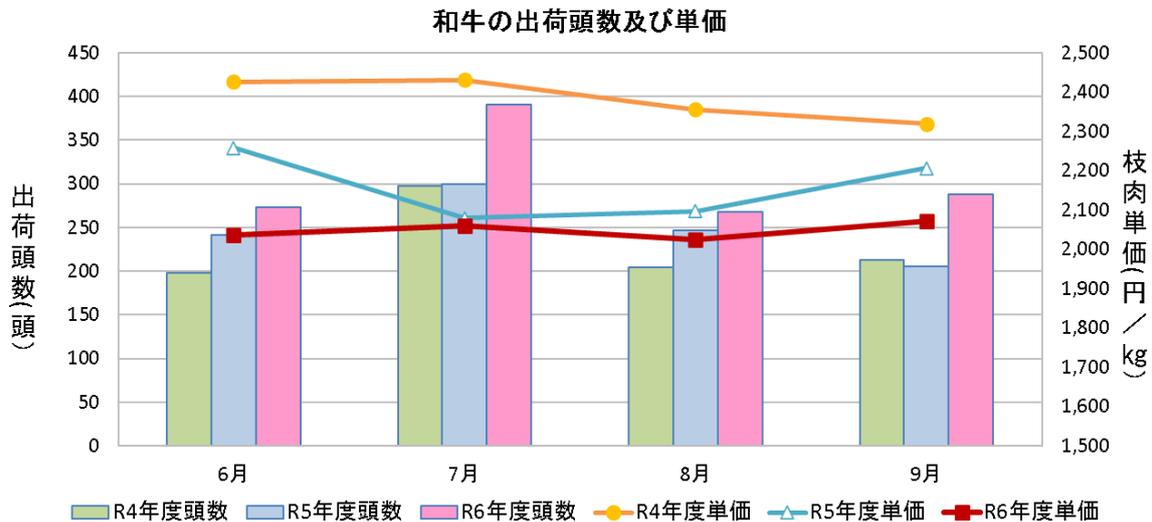


イ 畜産物の生産状況等

(ア) 和牛

出荷頭数は、前年を上回って推移している（前年比 109～140%）。

枝肉単価は、相次ぐ物価上昇による消費者の買い控えにより、和牛肉の引き合いが弱くなったことから、前年を下回って推移している（前年比 90～99%）。

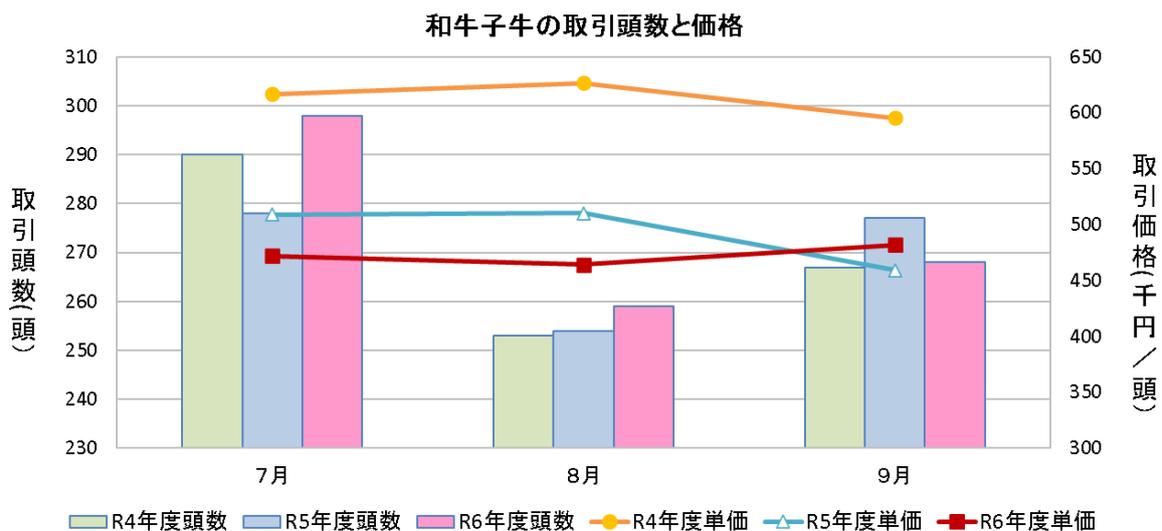


※ 「食肉流通統計」（農林水産省）。直近月は、「食肉市況速報」（（公社）日本食肉市場卸売協会）から引用。
 出荷頭数は全ての和牛（成牛）、枝肉単価は和牛去勢A4でいずれも広島市中央卸売市場食肉市場。

(イ) 和牛子牛

出荷頭数は、前年をやや上回って推移している（前年比 97～107%）。

取引価格は、枝肉単価が軟調に推移し肥育経営体の収支が悪化した状態が続いていることなどから、前年をやや下回って推移している（前年比 91～105%）。

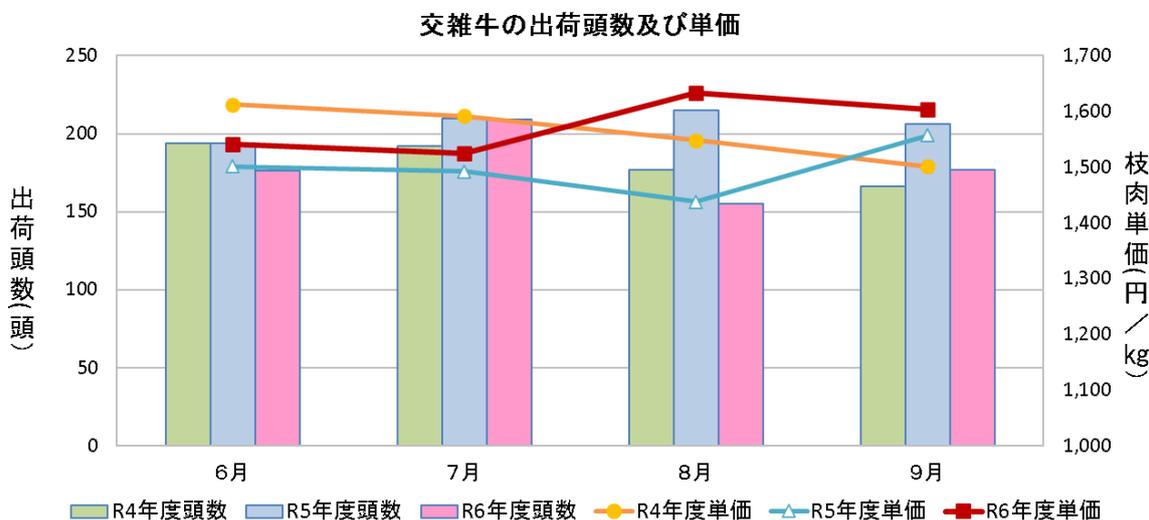


※ 「肉用子牛取引情報」（独立行政法人農畜産業振興機）

(ウ) 交雑牛

出荷頭数は、前年を下回って推移している（前年比 72～100％）。

枝肉単価は、高価な和牛肉からの代替需要に加え、輸入牛肉が円安等の影響により値上がりしたことを受け、交雑牛肉の引き合いが強まっていることから、前年を上回って推移している（前年比 102～114％）。

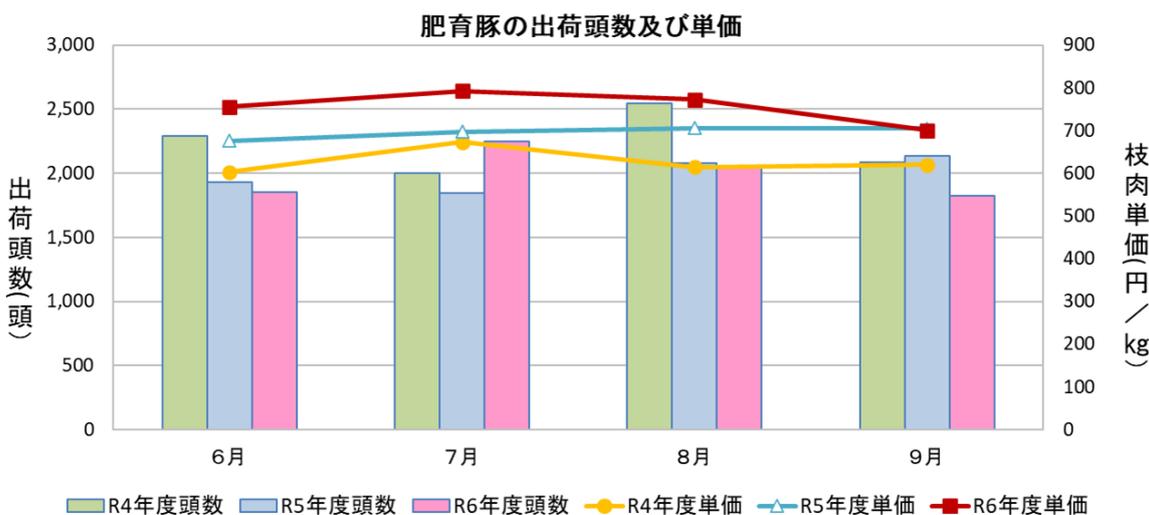


※ 「食肉流通統計」（農林水産省）。直近月は、「食肉市況速報」（（公社）日本食肉市場卸売協会）から引用。
 出荷頭数は全ての交雑牛（成牛）、枝肉単価は交雑牛去勢 B3 で、いずれも市場食肉市場。

(エ) 豚

出荷頭数は、月によって増減はあるものの、前年並みで推移している。

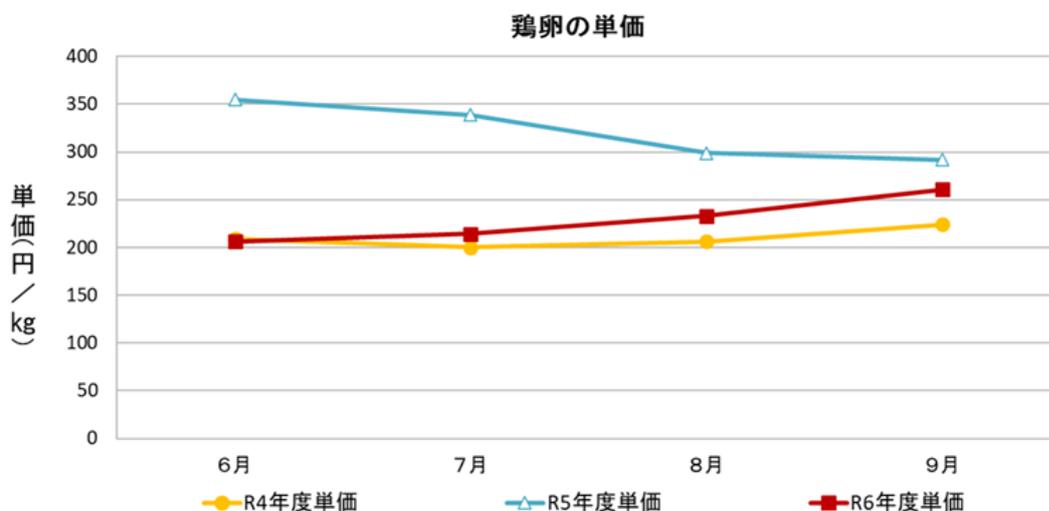
枝肉単価は、猛暑の影響で出荷が後ろ倒しとなっていることや輸入豚肉価格の上昇による国産への切り替えなどにより、8月までは前年を上回る価格で推移していたが、9月は、前年並みとなった。



※ 「広島市中央卸売市場食肉市場」の県内産
 ※ 「食肉市況速報」（（公社）日本食肉市場卸売協会）から引用。
 出荷頭数・枝肉単価は上規格で広島市中央卸売市場食肉市場。

(オ) 鶏卵（全農ひろしま M）

鶏卵の単価は、猛暑の影響により生産量が減少傾向で推移する中、月見商戦などの季節性の需要が高まったことから、上昇傾向で推移している。

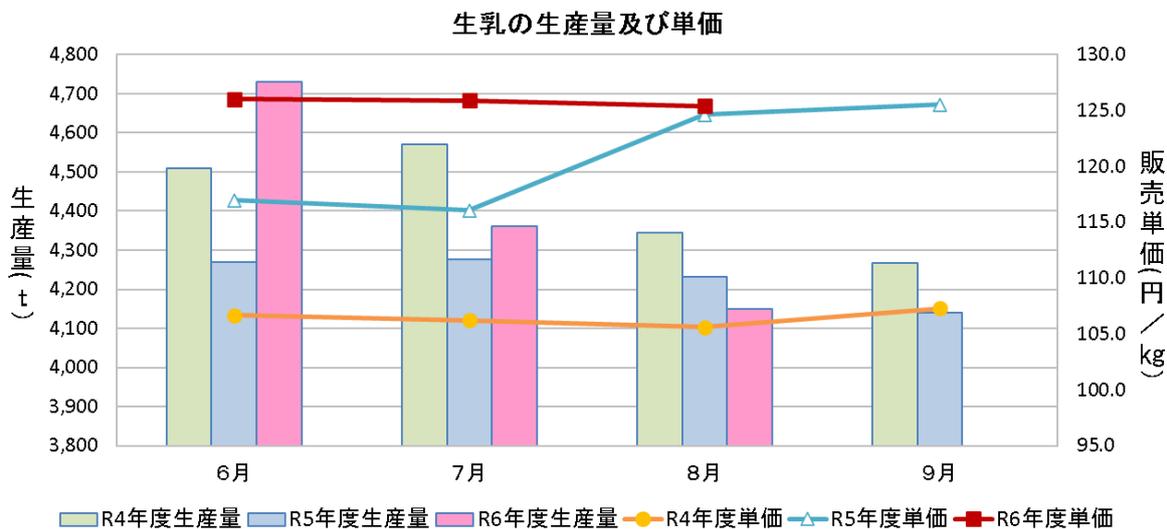


※「全国農業協同組合連合会広島県本部」（M品の単価）

(カ) 酪農

生乳生産量は、7月までは前年を上回って推移していたが（前年比 98～111%）、8月は猛暑の影響を受け、減少した。

生乳の販売単価は令和5年8月に行われた飲用向け乳価の改定から1年経過したこともあり、8月以降は前年並みの推移となる見込み。



※生乳生産量は、「牛乳乳製品統計」。乳価は広島県酪農業協同組合間取りで手取り乳価。

(キ) 飼料等価格

配合飼料の価格は、原料の国際価格の下落や為替相場等の影響により下落傾向にあるが、依然として高値が続いている。

粗飼料の価格についても、依然として高い水準で推移している。

ウ 林産物

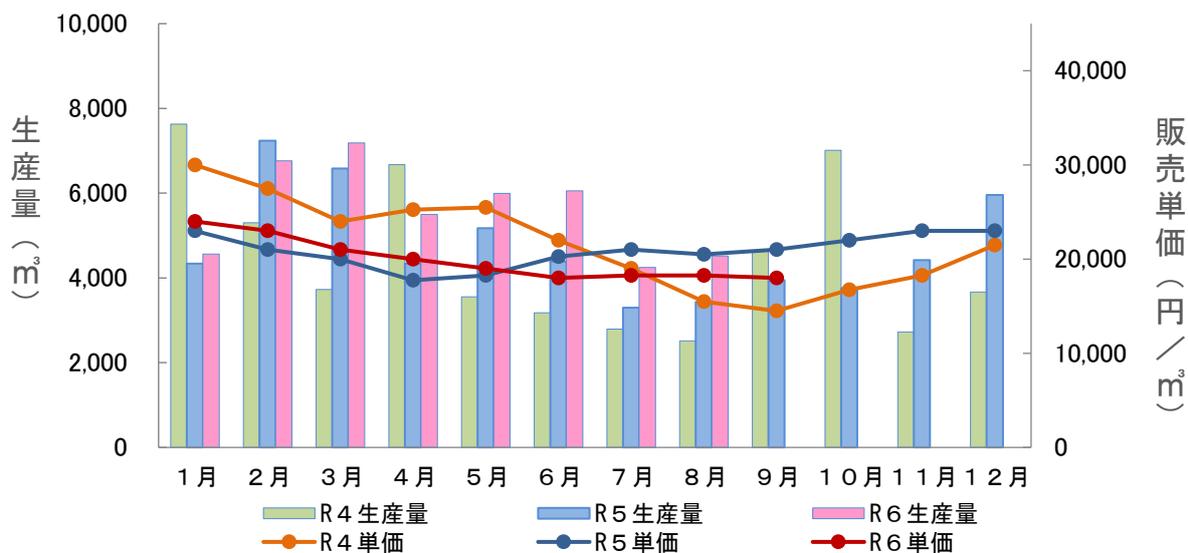
木材の生産状況

ヒノキの生産量は、県北部で主にヒノキを製材する工場が製材機械を更新し、県内の木材調達量を増やすとともに、新たにヒノキを製材する工場が稼働を開始したことにより、前年を上回っている。

販売単価は、上記需要増を含め安定的に供給されていることから、横ばいで推移している。

引き続き、木材の価格動向等を注視するとともに、広島県森林組合連合会と連携して需要先の確保を行う。

ヒノキの生産量及び販売単価



※生産量：県内の森林組合におけるヒノキの生産量（林業課調べ）

販売単価：広島県森林組合連合会三次共販所におけるヒノキの販売単価

エ 水産物

(7) 水温

9月上旬の県内海域 32 点の表層水温は 26.1～29.7℃で、平年差は+0.2～+2.6℃であった。

海 域	広島湾	安芸灘	備後灘
9月上旬の水温	26.6～28.6℃	26.1～27.8℃	28.2～29.7℃
平年差	+0.2～+2.6℃	+0.7～+1.9℃	+0.9～+1.8℃

(イ) 漁獲状況

a 取扱数量

広島市中央卸売市場における県内産の主要な漁獲物 14 品目の取扱数量について、平年比で 50%を下回る魚種はタコ、クロダイ、シタビラメなどの 6 品目であった。

b 取扱単価

県内産の取扱単価について平年比 120%以上の魚種は、タコ、サワラ、シタビラメなど 9 品目であった。

広島市中央卸売市場における水産物の販売状況（令和 6 年 8 月）

品 目	市 場 全 体						県 内 産					
	数 量			単 価			数 量			単 価		
	t	前年比 %	平年比 %	円/kg	前年比 %	平年比 %	t	前年比 %	平年比 %	円/kg	前年比 %	平年比 %
マ ダ イ	39.7	109	87	798	94	94	15.5	81	113	577	88	88
タ コ	12.2	83	34	2,078	107	167	3.9	57	27	2,035	108	161
ク ロ ダ イ	3.0	71	48	408	71	98	2.9	72	49	410	70	98
サ ワ ラ	8.7	80	64	1,276	98	127	0.7	41	84	1,212	90	130
シタビラメ	2.3	145	67	1,394	101	132	0.9	129	48	1,358	95	125
ス ズ キ	7.3	75	67	1,553	116	133	1.8	59	55	1,096	107	129
キジハタ	1.0	53	52	2,940	113	116	0.8	48	67	2,617	103	110
カワハギ	3.3	78	24	957	95	146	0.6	69	76	2,056	123	138
オコゼ	0.6	72	39	4,110	113	162	0.2	55	31	4,064	103	161
メバル	2.3	85	39	2,291	102	129	1.5	133	62	2,060	90	120
マアジ	44.6	84	64	715	100	118	0.6	139	109	1,084	54	74
アナゴ	23.2	103	75	2,125	100	110	0.3	26	30	1,944	68	93
タチウオ	2.9	71	18	2,381	100	168	0.3	221	5	2,179	101	145
カサゴ	0.7	104	58	1,193	113	127	0.6	158	70	1,171	115	134

※平年値は平成 25 年～令和 4 年の平均

c 煮干共販実績

6月中旬から出荷が始まった煮干し（いりこ、ちりめん）については、9月末現在、共販数量は平年並みで、金額及び平均単価は平年を上回っている。

広島県煮干共販出荷実績（令和5年9月末現在累計）

区 分	数量（t）	金額（千円）	平均単価（円/kg）
令和6年度 （平年比）	1,060 (101%)	1,410,089 (132%)	1,330 (131%)
平 年	1,049	1,065,280	1,016

※平年値は平成30年～令和4年の平均（9月末累計）

(ウ) 養殖状況

a かき養殖

かきの出荷は、前年と比べて3週間遅れの10月21日から順次開始される。
全ての生産者の出荷が出揃うのは11月以降を見込んでいる。
採苗は7～8月にかけて順調に行われ、おおむね8月末までに必要量が確保された。

b のり養殖

10月9日から採苗が行われる予定。（令和5年期は10月3日）

「乾^{ほし}のり」としての出荷は、1月上旬を見込んでいる。（令和5年期は1月13日）